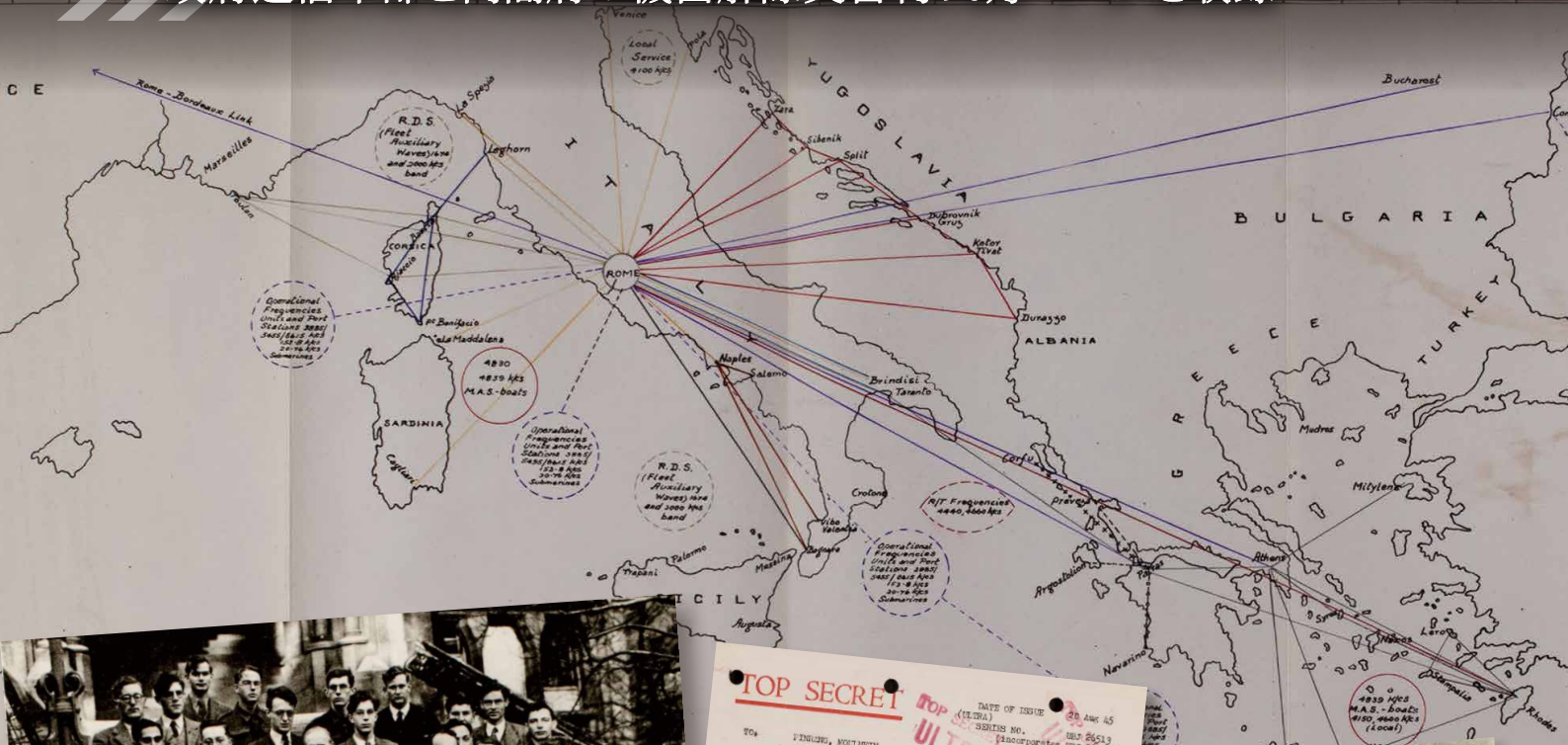


英国国家情報機関の機密解除文書シリーズ第2集、
政府通信本部と内閣府の機密解除文書約70万ページを収録



TOP SECRET

TO: FINING, MOLEZIN
FROM: SAIGON

DATE OF ISSUE: 28 Aug 45
(ULTRA)
REF: 26513
INCORPORATES: 26452

NO. 204 DATED: 19 Jul 45
Pars 2, 3, 4
8-12, 14, 15, 19, 20 2355

NAV HQ SJM (Southern Communications Staff) HQ.

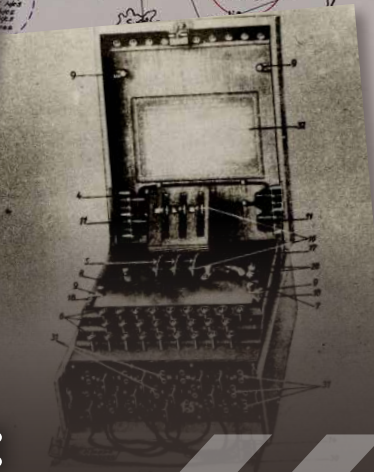
Part 1. (MSG 20)

Part 2. Pars 2. Close liaison will be maintained regarding the details. Sub-paragraphs 1, 2, 4 follow the order of shipment. SIGNATURE to MOLEZIN (Ordinance Dept).

Part 3. Equipment and ammunition: 1, (2)
Sub-pars: (1), try cells; 10 (7) (5)
Automobile gasoline; 40 (70) (2)
Heavy oil (100 litre drums) 20 (30) (4)
Gear oil; 10 (15 litre) drums 2 (3) (3)

Part 4. Fuel for patients (-10-) 25 (-10-) (2)
Articles needed for operations 20 (50) (4)
Veterinary materials; 300 (Mikrosim) cases 10 (50) (1)
Medical supplies; 250 (M. Mikrosim) cases 10 (25) (7)

Part 7. 7. SAIGON to MOLEZIN
Part 8. (-10-) materials; 15 (45) (3)
1. EQUIPMENT to SAIGON; 25 (-10-) (4)
Automobile gasoline; 50 (150 litre)



Declassified Documents Online: Twentieth-Century British Intelligence, Monitoring the World

Declassified Documents Online: Twentieth-Century Monitoring the World

英国国家情報機関の機密解除文書シリーズ第2集

英国公文書館が所蔵するイギリス国家情報機関の文書を搭載する電子リソース*Declassified Documents Online: Twentieth-Century British Intelligence*の第2集*Monitoring the World*は政府通信本部と内閣府の文書約70万ページを掲載します。第1集*An Intelligence Empire*に収録される情報局保安部(MI5)、内閣府、国防省、植民地省、特殊作戦執行部に政府通信本部の文書が追加されることで、英国の国家情報機関の活動の実態がさらに浮き彫りにされます。

政府通信本部の文書

政府通信本部(Government Communications Headquarters, GCHQ)は情報局保安部(The Security Service, 通称MI5)と秘密情報部(The Security Intelligence Service, 通称MI6)と並んで、英国国家情報機関の中核をなす情報三機関(The Agencies)の一つです。その起源は陸軍と海軍の暗号分析部門が合併し、政府暗号学校(Government Code & Cypher School, GC&CS)として創設された1919年に遡ります。第二次大戦中はバッキンガムシャーのブレッチリーパークに本部が置かれ、数学者アラン・チューリングら「ブレッチリーパークの暗号解読者たち」が敵国の暗号解読に従事、特にドイツのエニグマ暗号機を解読したことで広くその存在が知られるようになりました。1946年に政府通信本部に名称変更します。政府通信本部はシギント(Sigint)と呼ばれる通信情報を傍受し、収集した情報の分析結果を政府に提供し、国家安全保障や軍事作戦やテロ防止のために役立てることを組織目標に掲げています。情報局保安部、秘密情報部とともに長く秘密のベールに包まれていた政府通信本部は、公的機関の権限を明文化し、国民に対して説明責任を求める時代の要請の中で、1994年情報保安法により法的根拠を与えられ、議会の監視下に置かれることになりました。本データベースが収録する17シリーズ、2,100以上のファイルは1910年代から1970年代までの60年間をカバーします。収録文書は暗号解読情報、週報、組織内ユニットの歴史、戦史、第二次大戦期の連合国間の情報連携の記録等で構成されています。加えて、極東総局(1934年に香港に設立され、日本との開戦後はシンガポール、コロンボを経てケニアのキリンディニへ移動)、カイロ近郊の中東総局、オーストラリアのブリスベン総局の文書も収録されています。

内閣府の文書

内閣府の合同情報委員会は各種情報機関から提供される様々な情報を分析評価し、分析評価した内容を閣僚や政府高官に提供することを主要な任務とし、外務省、国防省、内務省等の省庁高官と情報三機関のトップをメンバーとする政府横断機関です。その起源は帝国国防委員会の傘下に合同情報小委員会として創設された1936年に遡ります。第二次大戦勃発後は参謀長委員会の傘下で戦時内閣官房の軍事部門を管轄しました。1947年の国防省創設とともに国防省に移管され、1948年に情報合同委員会に名称変更します。1957年のスエズ危機後に内閣府に移管されたことにより、内閣府が国家情報機関の中核に位置づけられるようになりました。本データベースは戦時内閣、国防省傘下の時代を含む10シリーズ、500ファイル以上の文書を収録します。(内閣府の文書は第1集にも収録されています。第1集には4シリーズ559ファイルが収録されています。第1集と第2集の収録文書に重複はありません。)

日本関係文書(例)

- ◆ HW 3/156:ブレッチリーパークにおける日本軍事情報部の歴史(1945-46)
- ◆ HW 4/4: 東南アジアにおける日本の海軍航空隊(1944-45)
- ◆ HW 4/13: アンダーソン研究部門概況 日本の備蓄報告(1945)
- ◆ HW 13/47: ドイツの日本への技術支援(1945)
- ◆ HW 41/140: 日本の無線電信に関するハンドブック(1944)
- ◆ HW 41/156: 情報分析官のための日本の無線電信と無線航行援助に関する報告(1943)
- ◆ HW 41/160-163: 東南アジアの日本陸空軍が送信した電信の解読に基づく報告(1944)
- ◆ HW 41/282: 特にビルマ戦線に関する日本軍司令組織の研究(1944)
- ◆ HW 41/283: 日本軍の海上輸送組織(1944)
- ◆ HW 41/284: 日本の通信情報部の評価(1945)
- ◆ HW 41/288-289: 日本の中度と低度暗号の解読に基づく日本の陸海軍に関する報告(1945)
- ◆ HW 41/290-295: 日本の陸海軍の暗号の解読(1944)
- ◆ HW 41/376: 南部領域における日本軍(1941-45)
- ◆ HW 41/404: 中国とモンゴルにおける日本軍の情報(1936-38)
- ◆ HW 43/58: 政府暗号学校陸軍空軍シギント 第15巻: 情報-陸軍-日本人(1939-45)
- ◆ HW 43/60: 政府暗号学校陸軍空軍シギント 第17巻: 情報-空軍-日本人(1939-45)
- ◆ HW 43/65: 日本空軍情報部の歴史 1943年10月-1945年10月 情報部の活動内容に関する詳述(1943-45)
- ◆ HW 43/66: 日本トフィック分析部の歴史(1942-45)
- ◆ HW 43/67: 日本通商部の報告(1942-45)
- ◆ HW 52/1-75: 日本の陸軍空軍の暗号解読(1944-45)

※ 後続ページもご参照ください

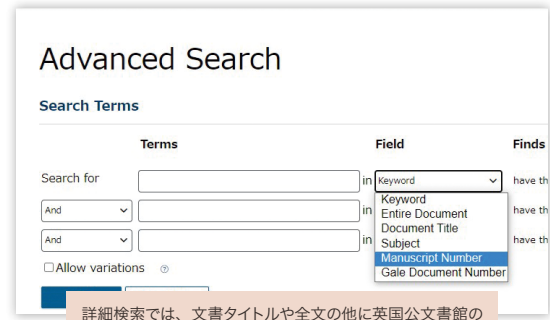
Declassified Documents Online: Twentieth-Century British Intelligenceシリーズ

第1集: An Intelligence Empire

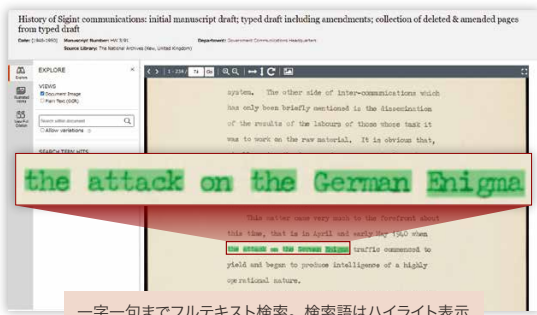
国家情報機関の中核をなす情報局保安部、国防省、内閣府、特殊作戦執行部、旧植民地省の文書を収録します。



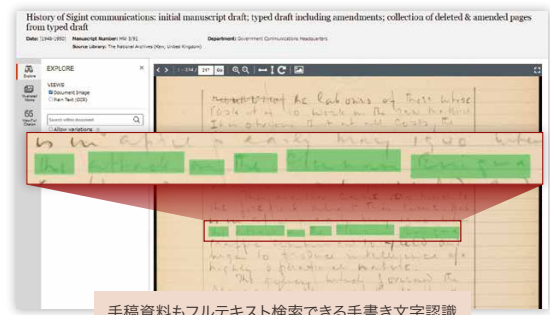
トップページ



詳細検索では、文書タイトルや全文の他に英国公文書館の文書番号を検索範囲に指定することができます



一字一句までフルテキスト検索。検索語はハイライト表示



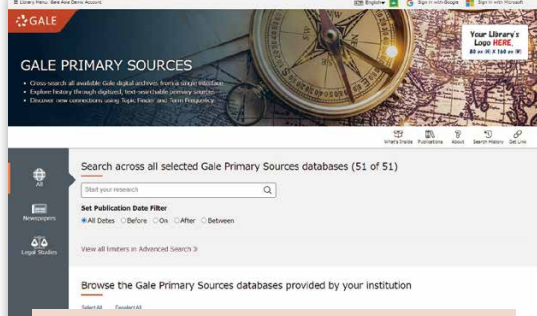
手稿資料もフルテキスト検索できる手書き文字認識 (Handwritten Text Recognition) を実装



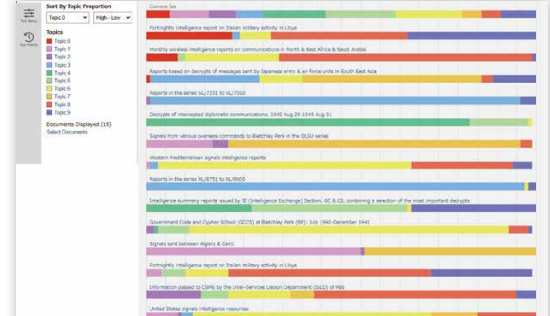
文書表示画面では手書き文書を含め、文書イメージとOCR/HTRテキストを左右見開きで表示することができます

Manuscript Number	Document Title	Date
HW 4/1	For East Combined Bureau reports on Japanese call signs & communications	April 9-July 13, 1940
HW 4/2	Daily U-boat dispositions	April 20, 1944-May 7, 1945
HW 4/3	Anderson camp layout, Colombo civil engineer's blue print & 33 annotated photographs	May 21, 1944
HW 4/4	FRUEFAIR & AND/AIR, Japanese naval air service in South East Asia area	August, 1944-June, 1945
HW 4/5	HMS Anderson: Y operations on board HM ships	September 18, 1944-August 8, 1945
HW 4/6	NASO/HMS Anderson: Japanese naval air	December 12, 1944-February 7, 1945
HW 4/7	NASO/HMS Anderson: Japanese naval air	February 8-March 3, 1945
HW 4/8	ULTRA(AND)/NASO/HMS Anderson naval air signals intelligence digest (Japan)	April 4-May 8, 1945
HW 4/9	ULTRA(AND)/NASO, HMS Anderson naval air signals intelligence digest (Japan)	May 9-June 26, 1945
HW 4/10	ULTRA(AND)/NASO, HMS Anderson naval air signals intelligence digest (Japan)	June 28-August 14, 1945
HW 4/11	Anderson research section summary roadbook known to have been used by Japanese saboteur, includes warships, on East Indies	February 28, 1945

収録文書の文書番号、文書タイトル、日付を示した一覧ページでは、各文書にハイパーリンクされています



統合検索プラットフォーム Gale Primary Sources では追加コストなしで導入済の Gale の買切データベースとの横断検索ができます



別契約の Gale Digital Scholar Lab では様々なテキストマイニングのツールをご利用になれます。この例は政府通信本部の文書を対象にしたトピックモデリングの分析結果を表示したものです

データベースの概要

- ◆ 収録資料：タイプ打ち原稿、手稿文書(約70万ページ)
- ◆ 年代/言語：1914年～1985年/英語
- ◆ 原資料所蔵機関：英国公文書館
- ◆ 機能：ページ送り、画面拡大・縮小、全画面表示、輝度・コントラスト調整のビューワ機能の他、印刷、PDFファイルのダウンロード、OCR/HTRテキストのダウンロード、書誌自動生成、書誌情報のエクスポート、メール送信、Google/Microsoftログインとクラウド連携を実装

▶▶▶ HW 3：政府暗号学校とその先行機関：個人文書、非公式史、外務省Xファイル、雑録 1914年-1945年

※ 188ファイルのうち機密解除されている 175ファイルを収録します。

収録ファイル(例)

- ◆ HW 3/1：海軍部関係文書(1915-39)
- ◆ HW 3/2：1915年から1933年までの期間をカバーする文書リスト：(ウィリアム・F)クラーク重病時のフランク・バーチによる文書除去を反映(1945)
- ◆ HW 3/3：クラークによるルーム40(英海軍暗号解読部門)におけるシギントの歴史：ホープ提督による補遺付(1948-59)
- ◆ HW 3/4：ルーム40に関するウィンストン・チャーチルの認可状原本と海軍本部内のその後の行動記録の写し(1914)
- ◆ HW 3/5：ルーム40のためのシギント無線局設置、1914年-1915年(1955)
- ◆ HW 3/8：フランク・バーチとクラークの共著『第一次大戦史』のために1919年にバーチによって書かれた「諜報」と題した章；「海軍諜報組織」と題した論文；「海軍の伝統と海軍の諜報」と題した論文；1951年にバーチによって書かれた「諜報とその使用」と題した論文(1919-1951)
- ◆ HW 3/9：ルーム40と海軍情報部25からの情報伝達の改善のための海軍文書(1917-1918)
- ◆ HW 3/12：英独露シギント組織に関するドイツ紙の記事の政府暗号学校海軍部による翻訳(1926-29)
- ◆ HW 3/13：第一次大戦時のルーム40の活動内容を漏洩した新聞記事や刊行物に関する書簡(1918-57)
- ◆ HW 3/14：暗号・通信の機械的収集装置を評価する文書(1927-28)
- ◆ HW 3/15：クラークのシギント講習会(1927-44)
- ◆ HW 3/16：政府暗号学校とその海軍部の歴史、1919年-1945年；クラークからホープ提督への1946年12月18日付書簡(1939-50)
- ◆ HW 3/20：イタリア海軍の活動に関するクラークの戦時日誌(1941)
- ◆ HW 3/21：連合国マルタ島輸送船団へのドイツとイタリアの対応(1941)
- ◆ HW 3/22：政府暗号学校の内部構造(1936-45)
- ◆ HW 3/24：政府暗号学校の内部要員名簿(1940-45)
- ◆ HW 3/27：W.F.クラークとW.ボズワースとF.バーチの間のブレッチリーパークでの通信(1941)
- ◆ HW 3/29：対独戦終結後のシギント活動に関わる保安体制を維持する必要性に関する政府暗号学校校長と海軍本部からの指令(1945)
- ◆ HW 3/32：アラスデア・デニストンの『政府暗号学校の歴史』(1944)
- ◆ HW 3/33：アラスデア・デニストン『政府暗号学校の歴史』に関する注釈(1948)
- ◆ HW 3/34：新しいシギント組織の創設：政府暗号学校設立のための諸省庁、海軍本部、陸軍省の提案と反対提案(1919)
- ◆ HW 3/43：W.F.クラークとL.H.ランバートの政府暗号学校の対海軍本部連絡調整官への任命(1922)
- ◆ HW 3/83：政府暗号学校空軍部長ジェス・クーパーの回想 1936年-1946年(1946-75)
- ◆ HW 3/85：政府暗号学校の史的任務：最終版と考えられる版(1945-46)
- ◆ HW 3/87：ブレッチリーパーク政府暗号学校の理事会レベルの概観と将来の政府通信本部への勧告(1946)
- ◆ HW 3/92：イギリス軍事シギントの歴史：政府暗号学校との関係を含む(1949-50)
- ◆ HW 3/93：ナイジェル・ド・グレイによるブレッチリーパーク政府暗号学校公式史の草稿に関する論評(1948-50)
- ◆ HW 3/96：第3章：攻勢への準備 1941年-1942年(1946-50)
- ◆ HW 3/97：第4章：地中海戦争 1941年-1945年(1946-50)
- ◆ HW 3/98：第5章：ラジオ戦：政府通信学校空軍部長ジェス・クーパーの論評含む(1946-50)
- ◆ HW 3/99：第6章：西部戦線 1942年2月-1945年5月(1946-50)
- ◆ HW 3/100：第8章：ロシアとの連絡(1946-50)
- ◆ HW 3/101：第9章：対日戦争(1946-47)
- ◆ HW 3/115：ドイツ空軍部アーカイブの案内(1945)
- ◆ HW 3/119-120：ブレッチリーパークのハット3(空軍軍事情報部)の歴史 1940年-1945年(1940-1945)
- ◆ HW 3/152：政府暗号学校における英国海軍女性部隊(WRENS)の歴史 1941年-1945年(1945)
- ◆ HW 3/156：ブレッチリーパークにおける日本軍事情報部の歴史(1945-46)
- ◆ HW 3/157：ブレッチリーパークにおける日本空軍情報部の歴史 1943年10月-1945年10月(1945-46)
- ◆ HW 3/159：ブレッチリーパークにおけるフランス空軍部戦史(1948)
- ◆ HW 3/162：民間・外交シギント：C.L.S.ウィリアムズによるパークレーズトリートにおける民間国際シギント発展史 1939年-1945年(1945-46)
- ◆ HW 3/166：ブレッチリーパーク部門長定例会議議事録 1943年2月-1944年2月(1943-44)
- ◆ HW 3/169：政府暗号学校の戦後体制(1944-45)
- ◆ HW 3/176：とりわけツインメルマン電報の暗号化に使われたドイツ暗号書(1916-17)
- ◆ HW 3/177：ルーム40でツインメルマン電報に取り組み、米国大使館のエドワード・ベルの面前で解読した経緯に関するナイジェル・ド・グレイによる説明(1945)
- ◆ HW 3/179：ツインメルマン電報と米国参戦に関するロンドン・ワシントン間の米国外交電信(1917)

▶▶▶ HW 4：政府暗号学校：極東総局、極東における信号情報センター：記録 1940年-1945年

※ 31ファイルすべてが機密解除され、収録されています。

収録ファイル(例)

- ◆ HW 4/1：日本の呼出符号と通信に関する極東総局の報告(1940)
- ◆ HW 4/4：東南アジアにおける日本の海軍航空隊(1944-45)
- ◆ HW 4/8-10：HMSアンダーソン海軍通信情報抄録(日本)(1945)
- ◆ HW 4/13：アンダーソン研究部門概況 日本の備蓄報告(1945)
- ◆ HW 4/17：HMSアンダーソン：日本の造船海上輸送活動(1945)
- ◆ HW 4/25：HMSアンダーソンの歴史(1946)

HW 7：ルーム40と後継機関：第一次大戦公式戦史 1914年-1923年

※35ファイルのうち機密解除されている28ファイルを取録します。

収録ファイル(例)

- ◆ HW 7/1-4：ドイツ海戦史に寄せて 1914年-1918年(1914-18)
- ◆ HW 7/7：ルーム40のドイツ暗号解読：スウェーデンの外交チャンネルを経由したベルリン・メキシコ間の外交電信(1916)
- ◆ HW 7/8：ルーム40のドイツ暗号解読：1月16日のツィンメルマン電報を含む外交電信(1917)
- ◆ HW 7/16：ルーム40の暗号解読：ギリシア、スペイン、スイスの外交電信(1916-17)
- ◆ HW 7/17：ルーム40の米国暗号解読：ワシントンと世界各地の大使間の外交電信 1916年1月-1917年4月(1916-17)
- ◆ HW 7/19：ルーム40のドイツ暗号解読：ドイツによる無制限潜水艦戦宣言とイギリスとイタリアの海上封鎖に関する外交電信(1917)
- ◆ HW 7/22：ルーム40の暗号解読：講和協議に関するドイツ、ギリシア、スペイン、イギリスの外交電信(1917-18)
- ◆ HW 7/28：仏領モロッコにおけるドイツの秘密転覆活動の資金源に関する電報(1915-18)

HW 11：政府暗号学校：第二次大戦公式戦史 1938年-1945年

※38ファイルすべてが機密解除され、収録されています。

収録ファイル(例)

- ◆ HW 11/2：西部戦(1940-41)
- ◆ HW 11/3：バルカン(1940-43)
- ◆ HW 11/4：北アフリカ(1941-43)
- ◆ HW 11/5：イタリア(1943-45)
- ◆ HW 11/6-7：東部戦線(1941-45)
- ◆ HW 11/8-9：西部戦線(1944-45)

HW 12：政府暗号学校：外交部とその先行機関：傍受した外交通信の解読 1919年-1945年

※338ファイルのうち機密解除されている331ファイルを取録します。

収録ファイル(例)

- ◆ HW 12/1-331：傍受した外交通信の解読 1919年10月19日-1945年8月31日(1919-45)
- ◆ HW 12/332：貿易とロシア共産主義政権承認に関するロンドンにおける英ソ間交渉中のロイド＝ジョージ首相の状況説明(1920)
- ◆ HW 12/333：1944年12月31日時点での日本の情報源(1944)
- ◆ HW 12/335：ロシアにおけるドイツ軍の現況と意図：日本のドイツ人情報提供者の声明(1942-43)
- ◆ HW 12/338：解読したポリシェビキ政権の電信を新聞にリークしたことで発生した損害に関する内閣レベルでの交信(1920-21)

HW 13：政府暗号学校：シギントに基づく第二次大戦諜報活動概況 1939年-1945年

※232ファイルのうち機密解除されている152ファイルを取録します。

収録ファイル(例)

- ◆ HW 13/1-3,5：シギントに基づく第二次大戦諜報概況(1940-42)
- ◆ HW 13/11/13：ドイツ経済の分析：人員、財政、燃料、食糧、弾薬、装備、通信、輸送、海上輸送(1943-45)
- ◆ HW 13/14：ドイツ空軍の東方戦線での作戦(1942-44)
- ◆ HW 13/18：ドイツ軍と民間人の士気(1944-45)
- ◆ HW 13/20-21：ドイツ軍作戦行動概況(1944-45)
- ◆ HW 13/34-43：ドイツ海軍航空隊の活動(1943-45)
- ◆ HW 13/47：ドイツの日本への技術支援(1945)
- ◆ HW 13/71-86：ドイツ空軍の西部戦線防衛に関する報告(1942-45)
- ◆ HW 13/95-105：ドイツ空軍爆撃偵察行動に関する日報(1941-43)
- ◆ HW 13/109-113：地中海におけるドイツ空軍爆撃偵察行動に関する週報(1942-45)

HW 14：政府暗号学校：理事会：第二次大戦政策文書 1933年-1949年

※164ファイルすべてが機密解除され、収録されています。

収録ファイル(例)

- ◆ HW 14/1-137：プレッチリーパークの政府暗号学校 1939年9月-1945年11月(1939-45)

HW 15：政府暗号学校と政府通信本部：ヴェノナ計画：記録 1940年-1949年

※62ファイルすべてが機密解除され、収録されています。

収録ファイル(例)

- ◆ HW 15/1-2：ソ連国家保安省の交信：モスクワとキャンベラ(1943-48)
- ◆ HW 15/3：ソ連国家保安省の交信：モスクワとソフィア(1945-47)
- ◆ HW 15/4：ソ連国家保安省の交信：モスクワとオタワ(1944)
- ◆ HW 15/7：ソ連国家保安省の交信：モスクワとベルリン(1947)
- ◆ HW 15/8：ソ連国家保安省の交信：モスクワとハーグ(1945)
- ◆ HW 15/9-12：ソ連国家保安省の交信：モスクワとメキシコシティ(1943-46)
- ◆ HW 15/13-14：ソ連国家保安省の交信：モスクワとストックホルム(1941-46)
- ◆ HW 15/15：ソ連国家保安省の交信：モスクワとイスタンブール(1944-45)
- ◆ HW 15/17-28：ソ連国家保安省の交信：モスクワとニューヨーク(1944-45)
- ◆ HW 15/29-31：ソ連国家保安省の交信：モスクワとサンフランシスコ(1943-46)
- ◆ HW 15/32：ソ連国家保安省の交信：モスクワとワシントン(1945-46)

HW 20：政府暗号学校：連合軍総司令部へ送信された戦術的シギント 1940年-1945年

※546ファイルのうち機密解除されている545ファイルを取録します。

HW 41：政府暗号学校：戦場通信情報ユニット：傍受した通信記録と戦場通信情報ユニットの歴史 1914年-1977年

※432ファイルのうち機密解除されている415ファイルを収録します。

収録ファイル(例)

- ◆ HW 41/1-5：地中海と北アフリカにおけるドイツ空軍とイタリア空軍の活動(1941-42)
- ◆ HW 41/12-13：敵国空軍活動に関する英中東司令部無線情報サービス月報(1942-43)
- ◆ HW 41/18-19：イギリスとヨーロッパにおけるドイツ空軍活動に関する日報(1940)
- ◆ HW 41/26：通信傍受に基づくドイツ輸送船団への攻撃の結果に関する報告(1941)
- ◆ HW 41/32-39：敵の作戦、輸送、燃料補給に関する英空軍概況説明(1942-43)
- ◆ HW 41/53：連合軍のフランス侵攻の進展を報告するアイゼンハワー署名の連合軍遠征軍最高司令部(SHAEF)の信号(1944)
- ◆ HW 41/62-64：連合軍のイタリア解放の進展を報告する第15軍集団からの信号(1944-45)
- ◆ HW 41/70-71：敵の通信に関するアレクサンドリアの英海軍基地からの信号(1943-45)
- ◆ HW 41/73-74：対敵協力者やスパイと疑われる人物に対する防諜要員による査問の結果に関する信号(1944-45)
- ◆ HW 41/82：アルジェとカイロ間の信号(1942-43)
- ◆ HW 41/98-100：イタリア領東アフリカ、イタリア、リビア、サウジアラビアに関する無線情報月報(1939)
- ◆ HW 41/113-115：イタリア領ドデカネス諸島に関する情報報告(1939)
- ◆ HW 41/118：382無線ユニットの歴史(1940-46)
- ◆ HW 41/120-121：デリー無線実験センターの歴史 1942年6月-1945年11月(1946)
- ◆ HW 41/125：ヨーロッパと北アフリカにおける通信情報の歴史(1939-45)
- ◆ HW 41/126：中東における通信情報の活動 1934年-1936年(1977)
- ◆ HW 41/133：ドイツ空軍通信情報提供の歴史と方法を記述するハンドブック(1945)
- ◆ HW 41/140：日本の無線電信に関するハンドブック(1944)
- ◆ HW 41/141：エニグマ傍受に関する雑報(1941-42)
- ◆ HW 41/145：ルーマニア空軍報告(1944)
- ◆ HW 41/150：東南アジアの連合軍地上軍により作成された通信情報報告(1945)
- ◆ HW 41/151-152：中東軍事通信情報報告(1942-45)
- ◆ HW 41/156：情報分析官のための日本の無線電信と無線航行援助に関する報告(1943)
- ◆ HW 41/157：レーダーを含む日本の無線航行援助に関する報告(1945)
- ◆ HW 41/158：東南アジア合同通信情報会議事録(1944-45)
- ◆ HW 41/159：極東における連合軍の欺瞞作戦に関する雑報(1943-45)
- ◆ HW 41/160-163：東南アジアの日本陸空軍が送信した電信の解読に基づく報告(1944)
- ◆ HW 41/166-181：日本の陸空軍の電信の解読(1945)
- ◆ HW 41/201-203：リビアにおけるイタリアの軍事行動に関する隔週情報報告(1937)
- ◆ HW 41/208：フランス領シリアに関する情報報告(1941)
- ◆ HW 41/210：エジプト、ヘリオポリスにおける中東暗号総局の開設(1040-42)
- ◆ HW 41/221：戦場における通信情報の歴史(ヨーロッパとアフリカ、1939-1945年)(1939-45)
- ◆ HW 41/222：中東、北アフリカ、地中海における英陸軍の傍受と通信情報の歴史(1940-45)
- ◆ HW 41/223：戦場における英陸軍の戦術的傍受の歴史(1939-45)
- ◆ HW 41/227：バルチザンに対するブルガリア警察の作戦(1944)
- ◆ HW 41/237：イランの国際通信の詳細(1944)
- ◆ HW 41/238：ブルガリア陸軍の装備と兵器(1943-44)
- ◆ HW 41/239：イタリア軍事通信週報(1942)
- ◆ HW 41/251-255：日本とイタリアの通信の傍受を記述する英陸軍通信情報局発行の月報(1937-38)
- ◆ HW 41/282：特にビルマ戦線に関する日本軍司令組織の研究(1944)
- ◆ HW 41/283：日本軍の海上輸送組織(1944)
- ◆ HW 41/284：日本の通信情報部の評価(1945)
- ◆ HW 41/285：ハンガリー陸軍に関する情報(1943)
- ◆ HW 41/288-289：日本の中東と低度暗号の解読に基づく日本の陸海軍に関する報告(1945)
- ◆ HW 41/290-295：日本の陸海軍の暗号の解読(1944)
- ◆ HW 41/296-334：日本陸軍の通信に関するトラフィック分析報告(1945)
- ◆ HW 41/376：南部領域における日本軍(1941-45)
- ◆ HW 41/404：中国とモンゴルにおける日本軍の情報(1936-38)
- ◆ HW 41/417-420：極東における通信情報組織(1943-45)
- ◆ HW 41/428：東南アジアにおける通信情報組織に関する覚書(1944)
- ◆ HW 41/429：南太平洋における通信情報組織に関する覚書(1944)

HW 43：政府暗号学校：英国シギントの歴史 1914年-1945年

※94ファイルのうち機密解除されている62ファイルを収録します。

収録ファイル(例)

- ◆ HW 43/1-3：英国シギントの歴史 1914年-1945年(1914-45)
- ◆ HW 43/6：政府暗号学校秘密情報シギント 第1巻：英国秘密情報シギントの組織と進化(1928-45)
- ◆ HW 43/7：政府暗号学校秘密情報シギント 第2巻：暗号システムとその解法(1939-45)
- ◆ HW 43/10-15：政府暗号学校海軍シギント 第1巻-第5巻：英国海軍シギントの組織と進化(フランク・バーチ)(1914-45)
- ◆ HW 43/44-46：政府暗号学校陸軍空軍シギント 第1巻-第3巻：英国陸軍シギントの組織と進化(1914-45)
- ◆ HW 43/47-49：政府暗号学校陸軍空軍シギント 第4巻-第6巻：英国空軍シギントの組織と進化(1914-45)
- ◆ HW 43/58：政府暗号学校陸軍空軍シギント 第15巻：情報-陸軍-日本人(1939-45)
- ◆ HW 43/60：政府暗号学校陸軍空軍シギント 第17巻：情報-空軍-日本人(1939-45)
- ◆ HW 43/65：日本空軍情報部の歴史 1943年10月-1945年10月 情報部の活動内容に関する詳述(1943-45)
- ◆ HW 43/66：日本トラフィック分析部の歴史(1942-45)

- ◆ HW 43/67：日本通商部の報告(1942-45)
- ◆ HW 43/70-72：ハット6の歴史(1939-45)
- ◆ HW 43/73：インド東南アジア司令部の通信情報部の歴史(1939-45)
- ◆ HW 43/75-78：連合軍シギントの政策と組織(ナイジェル・ド・グレイ)(1914-45)

▶▶▶ HW 44：政府暗号学校：概略報告、極東における第二次大戦 1944年-1945年

※9ファイルすべてが機密解除され、収録されています。

収録ファイル(例)

- ◆ HW 44/1-7：極東における第二次大戦とその影響に関する概略報告(1944-45)
- ◆ HW 44/8：極東における空軍行動の概略(1945)
- ◆ HW 44/9：極東における軍事行動の概略(1945)

▶▶▶ HW 49：政府暗号学校：特別連絡ユニット：歴史 1940年-1945年

※7ファイルのうち機密解除されている6ファイルを収録します。

▶▶▶ HW 51：政府暗号学校：中東総局：記録 1940年-1944年

※93ファイルのうち機密解除されている38ファイルを収録します。

収録ファイル(例)

- ◆ HW 51/14：中東総局イタリア軍事部門による暗号傍受と攻撃の歴史(1940-43)
- ◆ HW 51/22：外交暗号の暗号分析に関する中東総局と政府暗号学校の連携(1941-44)
- ◆ HW 51/23：イタリア空軍の暗号の暗号分析に関する中東総局と政府暗号学校の連携(1941-43)
- ◆ HW 51/24：ドイツ空軍の暗号の暗号分析に関する中東総局と政府暗号学校の連携(1941-43)
- ◆ HW 51/80：捕虜の尋問から得られた敵の暗号の詳細(1942-44)

▶▶▶ HW 52：政府暗号学校：ブリスベン総局：記録 1942年-1945年

※98ファイルのうち機密解除されている61ファイルを収録します。

収録ファイル(例)

- ◆ HW 52/1-75：日本の陸軍空軍の暗号解読(1944-45)
- ◆ HW 52/79：日本の空地通信(1945)
- ◆ HW 52/80：南西太平洋における通信情報の発展(1945)
- ◆ HW 52/81：ブリスベン総局翻訳部門の組織(1944)
- ◆ HW 52/92：オーストラリアとニュージーランドの通信情報に関する協力(1942)

▶▶▶ HW 60：政府暗号学校：連合軍遠征軍最高司令部(SHAEF)シギント：記録 1943年-1945年

※4ファイルすべてが機密解除され、収録されています。

収録ファイル(例)

- ◆ HW 60/1：連合軍遠征軍最高司令部通信情報委員会の形成(1943-45)
- ◆ HW 60/2：連合軍遠征軍最高司令部通信情報委員会議事録(1944-45)

▶▶▶ HW 61：政府暗号学校：コモンウェルス・連合軍シギント組織関係記録 1931年-1945年

※56ファイルのうち機密解除されている55ファイルを収録します。

収録ファイル(例)

- ◆ HW 61/2：南アフリカと政府通信学校の協力(1942-45)
- ◆ HW 61/8：連合軍の通信情報機関の協力(1943-44)
- ◆ HW 61/11：インドにおける通信情報組織(1944-45)
- ◆ HW 61/12：インドと米国の通信情報の協力(1943-44)
- ◆ HW 61/18：北アフリカと中東における通信情報組織(1944)
- ◆ HW 61/27：ロシアとの通信情報協力(1942-43)
- ◆ HW 61/31：ドイツ空軍に関するロシアとの連携(1942-44)
- ◆ HW 61/44：カナダの通信情報の発展(1941-42)
- ◆ HW 61/56：政府暗号学校のフィンランドとの連携に関する信号と通信(1940-41)

内閣府 Cabinet Office

▶▶▶ CAB 158：国防省と内閣府：中央情報機構：合同情報小委員会(後に合同情報委員会)：覚書 1946年-1968年

※104ファイルのうち機密解除されている71ファイルを収録します。

▶▶▶ CAB 159：国防省と内閣府：中央情報機構：合同情報小委員会(後に合同情報委員会)：議事録 1947年-1968年

※50ファイルすべてが機密解除され、収録されています。

》》 CAB 163：戦時内閣、国防省、内閣府：中央情報機構：合同情報小委員会(後に合同情報委員会)：事務局： ファイル 1939年-1996年

※ 608ファイルのうち機密解除されている117ファイルを収録します。

収録ファイル(例)

- ◆ CAB 163/1：トーチ作戦：仏領北アフリカ攻略の戦時プランに関する一般文書、情報状況報告(1942)
- ◆ CAB 163/7：エヴィル報告：1947年における情報組織に関するサー・ダグラス・エヴィルのレビューに関する文書：報告とエヴィルの勧告の実施(1947-49)
- ◆ CAB 163/29：東部マレーシアとボルネオ領域に対するインドネシアの軍事脅威：情報報告(1963-64)
- ◆ CAB 163/30：ソ連の防空：現在と将来の能力(1963-64)
- ◆ CAB 163/35：合同空中偵察情報小委員会：会議録(1962-65)
- ◆ CAB 163/37-38：NATOの諜報：加盟国と政府首脳間の諜報情報の共有と交換(1965-66)
- ◆ CAB 163/47：ソ連の国防政策(1962)
- ◆ CAB 163/52：NATOの諜報：欧州連合軍最高司令部(SHAPÉ)のための情報提供に関する英国の政策(1963-67)
- ◆ CAB 163/53：リビアの安全保障に対する脅威：情報報告(1964-67)
- ◆ CAB 163/55：1976年までの南部アフリカ展望：南アフリカに対する政治的・経済的脅威(1964-67)
- ◆ CAB 163/57：ソ連の外交政策：東欧共産主義諸国との関係(1963-67)
- ◆ CAB 163/62：アフリカにおけるソ連圏と中国の活動：動機(1965-67)
- ◆ CAB 163/69：ソ連の軍事支援プログラム：武器輸出と軍事支援に関するソ連と中国の政策(1963-67)
- ◆ CAB 163/71：中東：ナセル大統領とアラブ連合共和国内の諸国との関係(1965-68)
- ◆ CAB 163/73：中東：ペルシア湾に対する安全保障上の脅威：情報報告(1967-68)
- ◆ CAB 163/92：リビアに対する内部と外部からの脅威(1967-69)
- ◆ CAB 163/95：ナイジェリア：経済情報とインフラストラクチャーの戦後再建(1967-69)
- ◆ CAB 163/97：ソマリア共和国：ソマリアに対するソ連の軍事支援の含意(1966-69)
- ◆ CAB 163/98：ローデシア：経済制裁の効果と非合法政権による国際承認獲得の試み(1967-69)
- ◆ CAB 163/117：ペルシア湾からの英軍撤退後の情報部門の代表と調整(1966-69)
- ◆ CAB 163/131-132：シコルスキ将軍事件：議会の質問と訴訟(1968-69)
- ◆ CAB 163/133：第二次大戦における諜報：公式戦史のための提案(1969)
- ◆ CAB 163/136：フォークランド諸島：アルゼンチンからの軍事脅威のリスク(1964-69)
- ◆ CAB 163/141：中ソ論争：ウスリー川での軍事衝突に関するJICとCIAの見解(1967-70)
- ◆ CAB 163/143：西ドイツ：ワルシャワ条約機構加盟国内の軍事行動に関する西ドイツ連邦情報局との情報共有の可能性(1969-70)
- ◆ CAB 163/171：北アイルランド：コンプトン委員会の証人のための背景説明と証拠(1971)
- ◆ CAB 163/172：北アイルランド：パーカー委員会の証人のための背景説明と証拠(1971)
- ◆ CAB 163/194：第二次大戦中の欺瞞作戦に関するセフトン・デルマーの著書に対する安全保障上の理由に基づく英国政府の反論(1969-73)
- ◆ CAB 163/207：海軍士官ライオネル・クラブに関するBBCの番組放送を差し止める試み(1969-73)
- ◆ CAB 163/255-256,288：第二次大戦における英国の諜報の歴史(1970-78)
- ◆ CAB 163/317：1911年国家機密法の改革(1978-79)

》》 CAB 179：国防省と内閣府：中央情報機構：合同情報委員会：週報 1956年-1966年

※ 12ファイルすべてが機密解除され、収録されています。

》》 CAB 182：内閣府：中央情報機構：合同情報委員会：小委員会、作業部会：議事録、覚書、文書 1957年-1983年

※ 120ファイルのうち機密解除されている77ファイルを収録します。

》》 CAB 185：内閣府：中央情報機構：合同情報委員会：議事録 1969年-1982年

※ 33ファイルのうち機密解除されている20ファイルを収録します。

》》 CAB 186：内閣府：中央情報機構：合同情報委員会：覚書 1969年-1985年

※ 40ファイルのうち機密解除されている24ファイルを収録します。

》》 CAB 188：内閣府：中央情報機構：合同情報委員会と海外経済情報委員会：議事録、覚書、その他の文書 1968年-1981年

※ 60ファイルのうち機密解除されている53ファイルを収録します。

》》 CAB 190：内閣府、中央情報機構：合同情報委員会：作業グループと作業部会の議事録と報告 1970年-1979年

※ 134ファイルのうち機密解除されている79ファイルを収録します。

》》 CAB 191：海外合同情報グループ：断片的記録 1947年-1974年

※ 17ファイルのうち機密解除されている16ファイルを収録します。



すべてのコンテンツと機能をお試しいただける無料トライアルをご提供しております。

商品に関するお問い合わせは、センゲージャーニング株式会社までお願いします。

Tel : 03-3511-4390 E-mail : GaleJapan@cengage.com URL : www.gale.com/jp